

## 平成 19 年度 研究部会活動への応募

### <研究テーマ>

関西広域地方計画の提言（オールナティブ・プラン）

### <研究内容>

本年、国土形成計画（全国計画）が閣議決定され、これを受けて近畿広域地方協議会の設立が予定され、来年には、近畿広域地方計画の策定が予定されている。

関西文化首都論や道州制の導入を主張してきた関西は、国の管理管轄区域である近畿地方でなく、関西地域という地域アイデンティティを基軸に学会を中心に関西の知恵を結集して、将来の関西州の設立の契機となり、関西州総合計画の第一歩となる関西広域地方計画（近畿広域地方計画のオールナティブ・プラン）を作成・提言することを目指す。

### <研究方法・期待される効果>

「新しい国土政策研究会」は国土審議会における国土形成計画の検討作業に対応し、一昨年、「21世紀の新しい国土政策のあり方」を検討する公共政策フォーラムとして学会会員有志により設立され、オープンに議論を深めてきた。

17年度には「新しい国土政策の課題整理と集約」、18年度には第29回全国大会においてワークショップ「関西州を展望する自立発展可能な広域地方計画の課題」を実施するとともに、大阪府・京都府・兵庫県の広域地方計画担当者と自由意見交換会を実施した。

19年度は、これらの研究実績を踏まえつつ、学会内外から有識者を招き次のようなオープン学習会を実施し、「関西広域地方計画の提言」をとりまとめ、世論の喚起を図ることを目指す。

### <オープン学習会の予定>

講 師	テーマ	日 時
中西 寛 京都大学教授	転換期における世界と関西の役割	7月12日
角野幸博 関西学院大学教授	関西の地域特性と関西広域地方計画の役割	10月15日
仲上健一 立命館大学教授	関西の国際化の課題と戦略	8~9月
前田 昇 青山学院大学教授	関西の大都市産業の役割	11月

### <メンバー>

別紙のとおり

### <担当連絡者とその連絡先>

別紙のとおり

<メンバー表>

大久保昌一	大阪大学名誉教授
加藤晃規	関西学院大学総合政策学部教授（代表）
加藤恵正	兵庫県立大学経済経営研究所教授
仲上健一	立命館大学国際機構長
新川達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
野口 隆	奈良産業大学教授
牛野 正	前京都大学大学院農学研究科教授
奥野志偉	流通科学大学情報学部経済情報学科教授
井出 光	摂南大学講師
宮前洋一	(株)スペース・ビジョン研究所社長
北野義幸	大阪府生活文化部文化課長（オブザーバー）
佐々木俊一	日本経済新聞社大阪本社代表室企画員（オブザーバー）
金井万蔵	(株)地域計画・建築研究所会長
広瀬浩二	(財)関西情報・産業活性化センター・主席研究員
山内芳樹	(財)関西空港調査会研究参与
上田雅治	(株)全日本コンサルタント・技術部(幹事)